

# しずおかフィナンシャルグループの価値創造プロセス

しずおかフィナンシャルグループは、基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」のもと、マテリアリティに基づいた企業活動を展開し、全てのステークホルダーに多様な価値を提供することで、社会価値の創造と企業価値の向上の両立をめざしてまいります

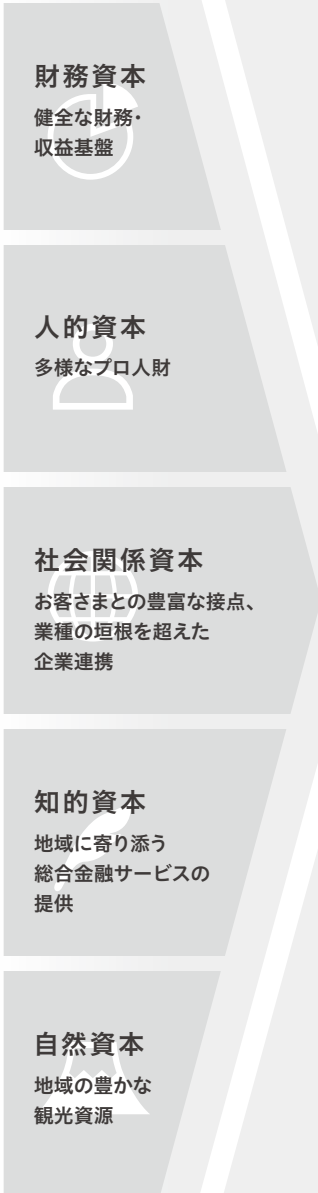
## 基本理念 Corporate Philosophy

マテリアリティ  
の特定  
▶ P23

活用する  
資本  
Input

企業活動  
Activity

- 人口減少・少子高齢化への対応
- 地域社会の健全な成長
- 産業発展と金融イノベーション
- デジタル社会の形成
- 環境と経済が両立した社会の充実
- 人的資本経営の実践
- 企業価値の向上



## 地域との共生による持続的成長の実現



## 第1次中期経営計画 ▶ P31



# 地域とともに夢と豊かさを広げます。

## 提供する価値 Outcome

### 地域社会

- 持続的な発展
- 地域経済の活性化
- 脱炭素社会の実現
- ヒト、企業が集まり続ける地域の醸成

### お客さま

- 課題解決、最適なソリューション
- 高い利便性
- 揺るぎない信頼

### 株主

- 中長期的な企業価値向上
- 非財務情報を含む透明性の高い情報開示
- 積極的な対話

### 役職員

- 働きがい、成長の実感
- 柔軟な働き方
- 地域やお客さまへの貢献による喜び

### 未来世代

- サステナブルな社会の創造
- 豊かな自然環境
- 明るい未来、希望

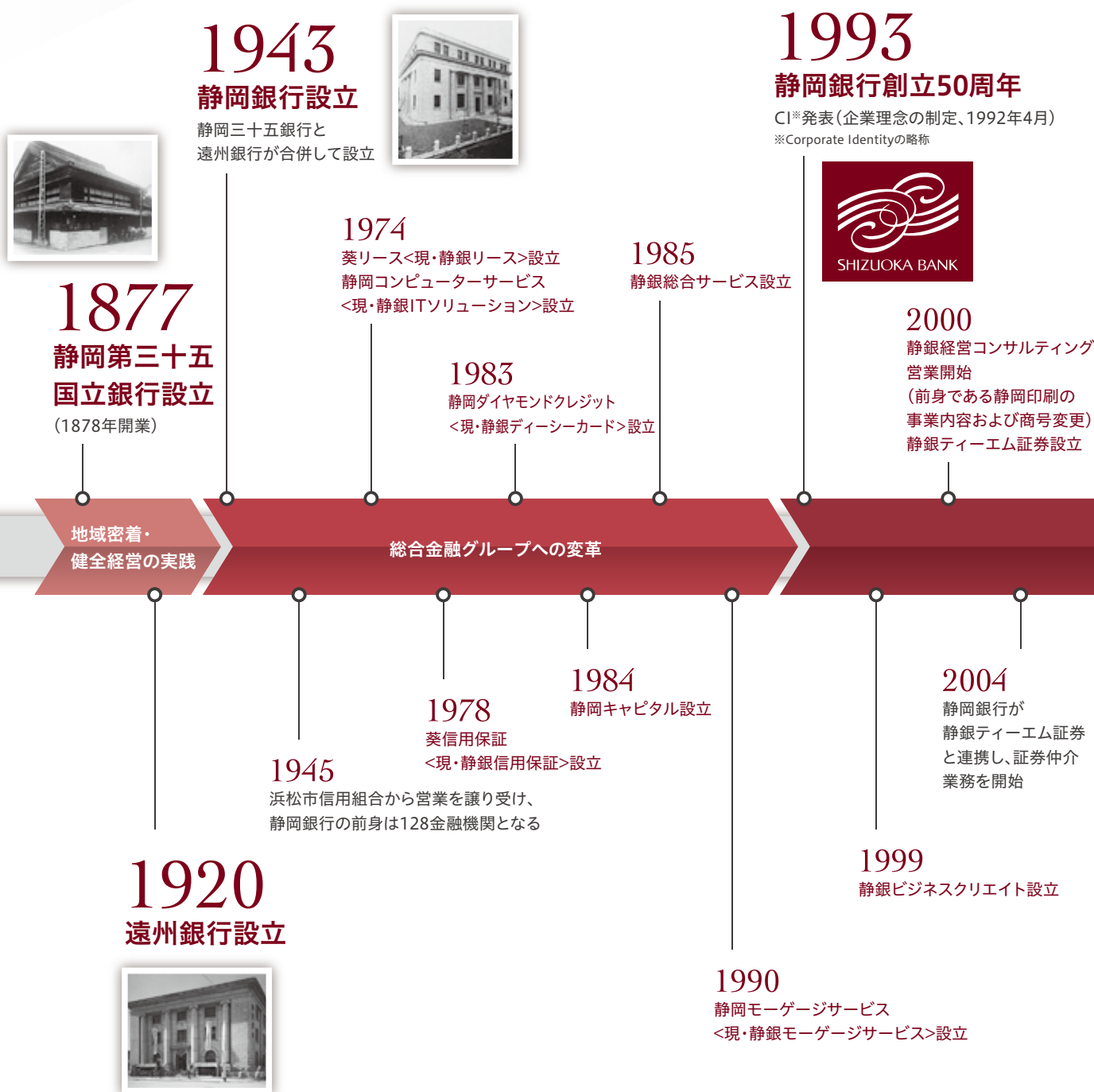
## サステナビリティ指標の達成

▶ P32



# しずおかフィナンシャルグループの沿革

2022年10月、持株会社体制への移行とともに設立した「しずおかフィナンシャルグループ」。  
なかでも多くのお客さまとお取引いただく静岡銀行の源流をたどると、前身銀行は128行を数え、  
もっとも古いのが1878年(明治11年)に静岡県内で初めて紙幣の発行が認められ開業した国立銀行であり、  
この年を起点にすると創業145年を迎えました。  
今後も、永年にわたり培った地域との信頼関係のもと、総合金融グループとしての課題解決力に磨きをかけ、  
すべてのステークホルダーへの提供価値の最大化をめざし、新たな挑戦を続けてまいります。





2022



静岡・名古屋アライアンス  
Shizuoka-Nagoya Alliance

名古屋銀行と包括業務提携  
「静岡・名古屋アライアンス」締結

「しずおかフィナンシャルグループ」設立

2018

静岡銀行と静岡信用保証がアルヒ(株)と  
連携した保証業務開始  
静岡銀行が静岡リースとの媒介業務開始

2014

新たなビジネス創出に向けた  
異業種企業との連携を開始  
(マネックスグループ(株)と  
資本業務提携)



2020

山梨中央銀行と包括業務提携  
「静岡・山梨アライアンス」締結



TCFD提言への賛同表明

2008

フロント特化型店舗  
第1号店のオープン  
(登呂支店・静岡駅南  
ローンセンター)

2006

静岡セゾンカード設立

グループ経営の強化・新たな事業領域の拡大

サステナビリティ経営の実践

2007

インターネット  
支店開設

2016

「しずぎん本部タワー」グランドオープン  
「ほけんの窓口@しずぎん」  
第1号店オープン

2019

しずぎんハートフル設立

2023

(株)ティージェエスの  
株式取得(完全子会社化)  
SFGマーケティング設立

2011

海外ネットワークの拡充  
<カシコン銀行(タイ)、りそなブルダニア銀行(インドネシア)、  
ANZベトナム(ベトナム)、新韓銀行(韓国)、  
CIMBニアガ(インドネシア)と業務提携の覚書を締結>

2021

「次世代勘定系システム」稼働開始  
地方銀行初「シリコンバレー駐在員事務所」新設  
全国初 中小企業向け  
「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約締結  
静岡県内初 再生可能エネルギー  
「静岡Greenでんき」の導入  
「サステナブルファイナンス目標」の設定

2005

初のグループ経営戦略として  
第9次中期経営計画  
「創造と変革への挑戦~3Cプラン」を策定

# 競争優位の源泉

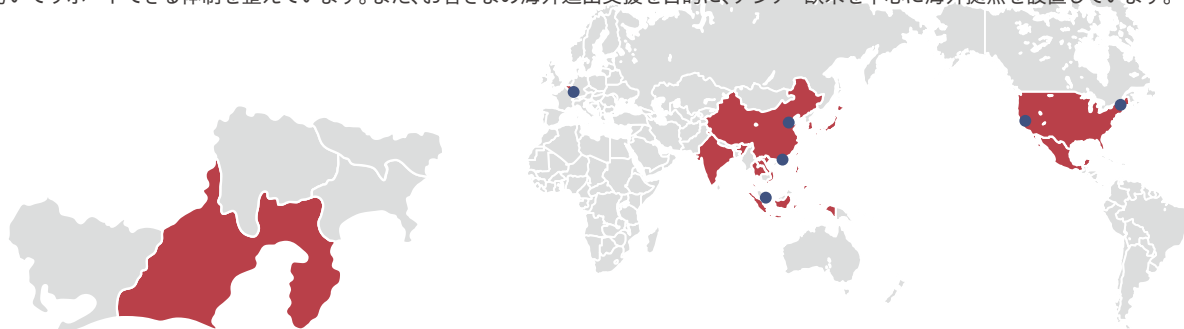
## 強み1 グループストラクチャー

しずおかフィナンシャルグループは、銀行・証券・リースをはじめとした、多彩なソリューション提供が可能な20社で構成されています。今後もグループ会社間の連携やシナジーの強化を目指し、ステークホルダーのあらゆる課題と向き合う力を磨き上げます。



## 強み2 ネットワーク

国内は静岡県を中心に、周辺地域である神奈川県や愛知県においても店舗ネットワークを展開し、地域やお客さまの課題を県を跨いでサポートできる体制を整えています。また、お客さまの海外進出支援を目的に、アジア・欧米を中心に海外拠点を設置しています。



静岡県内 **171**店舗 / 静岡県外 **33**店舗

海外 **4**拠点 / 駐在員事務所 **2**拠点 / 業務提携 **16**行

### 強み3 多様な専門人財

課題解決の実現に必要な専門人財を「価値創造型」「デジタル」「課題解決型」の3つに定義し、必要な知識・スキルの習得に向けた育成プログラムを策定することで、専門人財の計画的な育成に取り組んでいます。(▶ P76)

価値創造型人財



デジタル人財



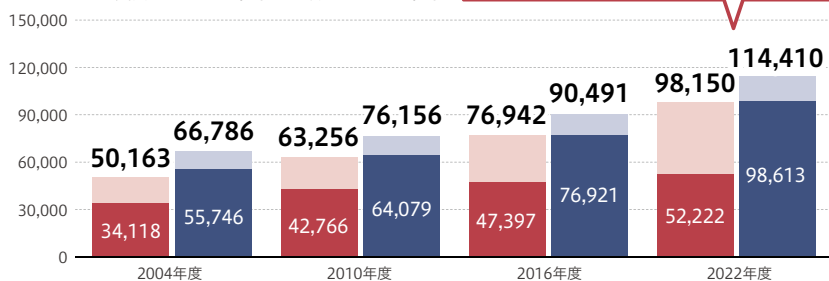
課題解決型人財



### 強み4 強固な顧客基盤

永年に亘り築いてきたお客さまとの信頼関係に支えられ、静岡銀行の預貸金残高は地銀トップ水準を維持しています。また、静岡県内シェアは3割を超え、現在も拡大傾向にあります。

(単位:億円) ■貸出金 ■うち県外 ■預金 ■うち県外



静岡県内シェア  
貸出金 **36.7%** / 預金 **38.1%**

### 強み5 健全な財務基盤

しずおかフィナンシャルグループは、外部格付機関より邦銀トップ水準の格付を取得しています。リスク管理債権比率は低水準を維持し、財務基盤の健全性を表す自己資本比率は適正水準を維持しています。

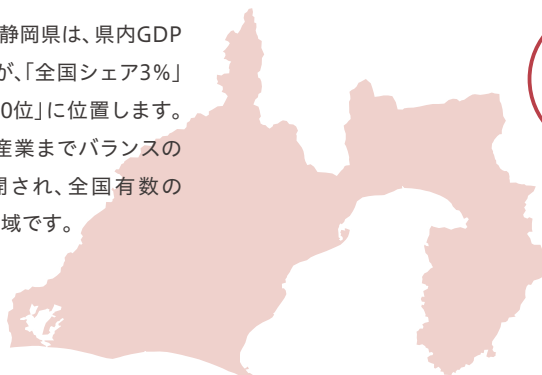
	しずおかFG	静岡銀行
Moody's	-	A1
S&P	-	A-
R&I	A+	AA-

リスク管理債権比率  
(静岡銀行単体金融再生法開示基準) **1.02%**

自己資本比率  
(連結) **18.42%**

### 静岡県のポテンシャル

主要マーケットである静岡県は、県内GDPや人口等の指標の多くが、「全国シェア3%」「47都道府県の順位で10位」に位置します。第1次産業から第3次産業までバランスの取れた経済活動が展開され、全国有数のポテンシャルを秘めた地域です。



人口  
全国**10**位

県内GDP  
全国**10**位

製造品  
出荷額等  
全国**3**位

移住希望地  
ランキング  
全国**1**位

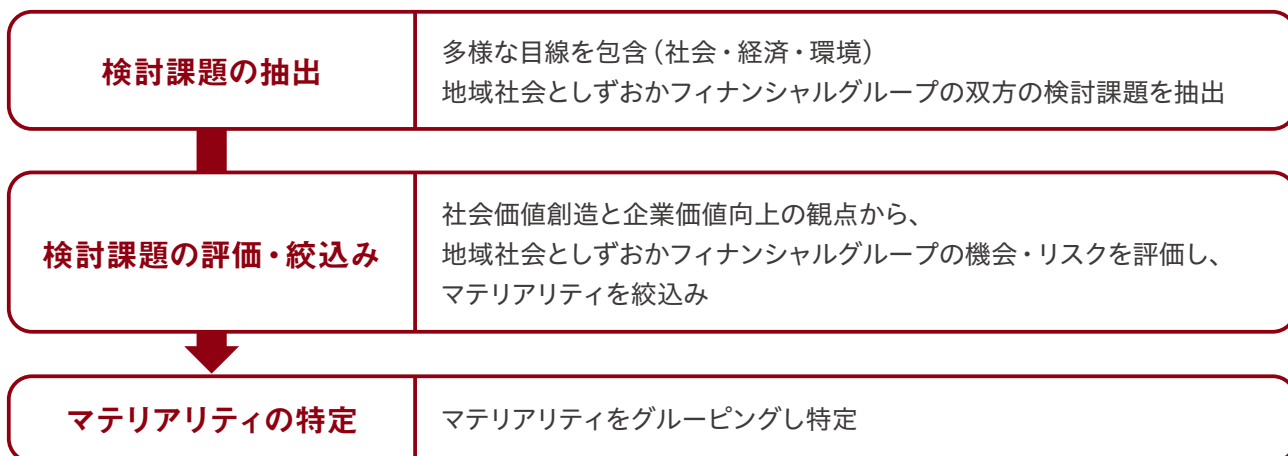
漁業漁獲量  
全国**3**位

出所：静岡県経済白書2023 ほか

# マテリアリティ特定のプロセス

しずおかフィナンシャルグループでは、「社会価値創造」と「企業価値向上」の両立に向けた取組みとして、「社会」「経済」「環境」をテーマに重要課題（マテリアリティ）を特定し、その解決を通じて社会インパクトを創出します。

## マテリアリティ特定手順



## 検討課題

社会・経済・環境の観点から、地域社会としずおかフィナンシャルグループ双方の検討課題を抽出しました。地域社会の課題には静岡県が掲げるアクションプランを軸とし、当グループとアライアンス提携行の営業エリアでの共通課題も洗い出しました。

### 静岡県の課題※

- ①命を守る安全な地域づくり★
- ②安心して暮らせる医療・福祉の充実★
- ③デジタル社会の形成
- ④環境と経済が両立した社会の形成
- ⑤子供が健やかに学び育つ社会の形成★
- ⑥“才徳兼備”の人づくり
- ⑦誰もが活躍できる社会の実現★
- ⑧富をつくる産業の展開★
- ⑨多彩なライフスタイルの提案
- ⑩地域の価値を高める交通ネットワークの充実
- ⑪“ふじのくに”の魅力の向上と発信
- ⑫世界の人々との交流の拡大

### しずおかフィナンシャルグループの課題

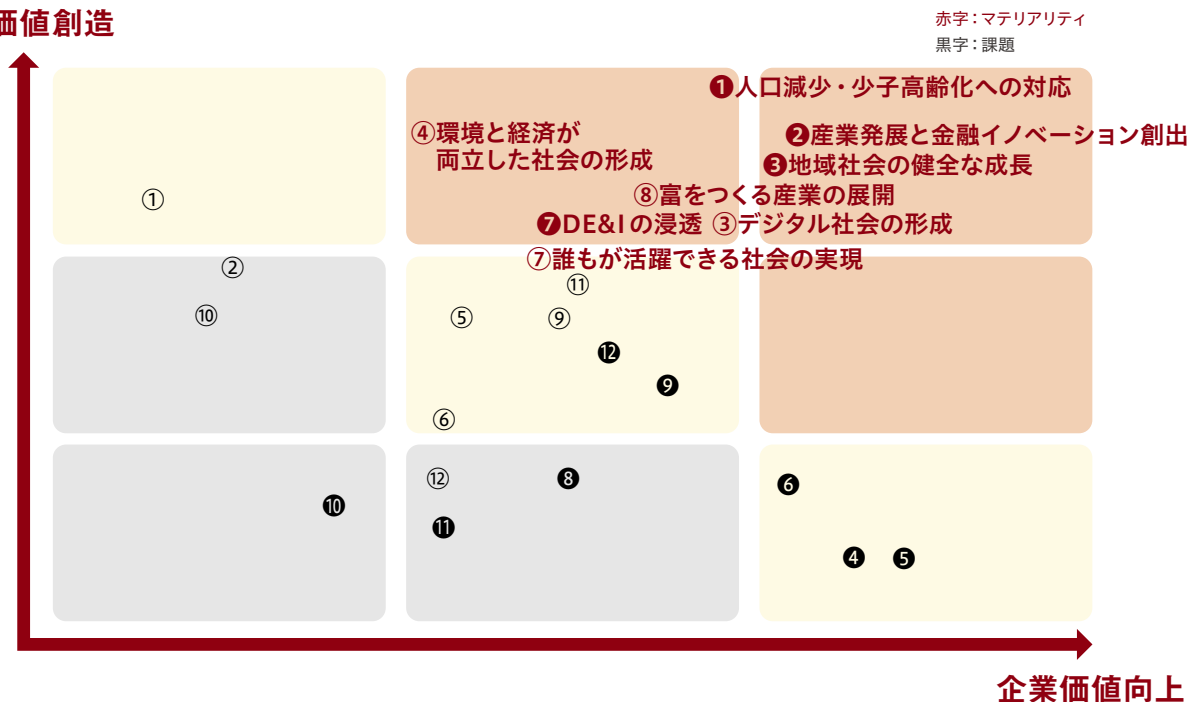
- ①人口減少・少子高齢化への対応
- ②産業発展と金融イノベーション創出
- ③地域社会の健全な成長
- ④グループ事業領域拡大（既存事業の収益性悪化）
- ⑤新規事業への挑戦（銀行法改正）
- ⑥DX実現とモダナイゼーション
- ⑦DE&Iの浸透
- ⑧企業文化の変革
- ⑨顧客起点での商品・サービスの提供
- ⑩グループガバナンス高度化（グループの自立と連携）
- ⑪複雑化・高度化するセキュリティへの対応
- ⑫環境に配慮した商品・サービスの開発

※静岡県新ビジョン 後期アクションプラン 基本理念を具体化する12の政策 ★静岡県・神奈川県・山梨県・愛知県で共通の課題

# マテリアリティの定義

抽出した課題をマッピングし、社会価値創造と企業価値向上の両立に不可欠な課題の優先順位づけを行いました。

## 社会価値創造



## 特定したマテリアリティ

特定したマテリアリティに対する事業活動と、アウトプット・アウトカムを設定し、社会インパクトへの貢献をめざす指標としてサステナビリティ指標を設定しました。今後はこれらの進捗状況を把握し、社会価値創造と企業価値向上の両立にむけたPDCAを実践してまいります。

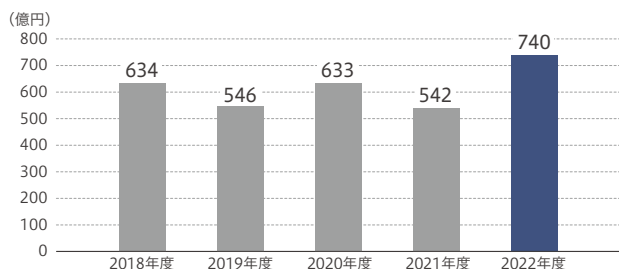
	マテリアリティ	事業活動	アウトプット・アウトカム		インパクト
社会	人口減少・少子高齢化への対応	人が集まる街づくり支援	観光地創造件数	静岡県内関係人口増加	静岡県内人口の社会増減率 (継続的に増加)
	地域社会の健全な成長	地域金融リテラシー向上	資産形成コンサル数		
経済	産業発展と金融イノベーション	産業構造の変化を見据えた変革支援	産業変革支援件数	静岡県内企業数増加	実質県内総生産 (持続的発展)
	デジタル社会の形成	地域のDX支援	DX認定事業者数		
環境	環境と経済が両立した社会の充実	脱炭素と事業性を両立した地域づくり	環境ファイナンス実行額	カーボンオフセット浸透	県内の温室効果ガス排出量削減率 (2013年度比▲46%(2030年度))
役職員	人的資本経営の実践	人財Xへの取組み	課題解決および価値創造型人財の創出	グループ役職員エンゲージメント	役職員のウェルビーイング (エンゲージメント指標)
株主	企業価値の向上	各戦略を通じた生産性向上、収益機会の拡大	トップラインの拡大経費削減	利益増加	財務目標 収益性・効率性・健全性



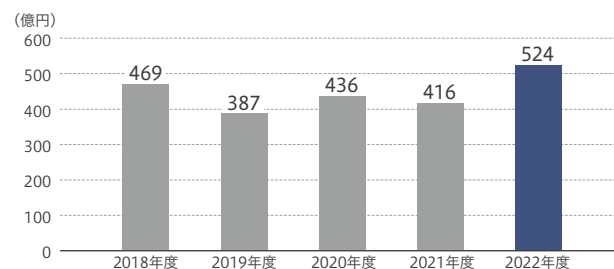
# 財務ハイライト

## 主要項目

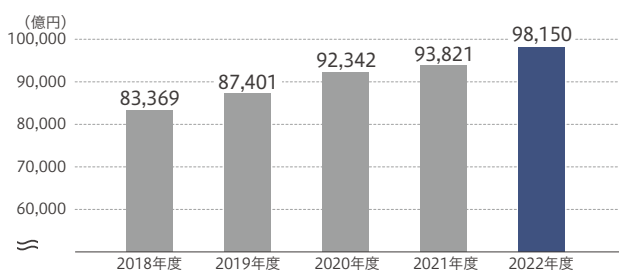
経常利益(連結) **740** 億円



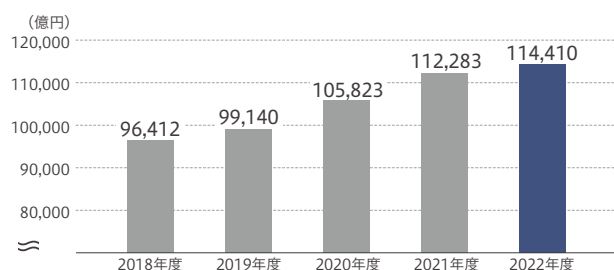
親会社株主に帰属する当期純利益(連結) **524** 億円



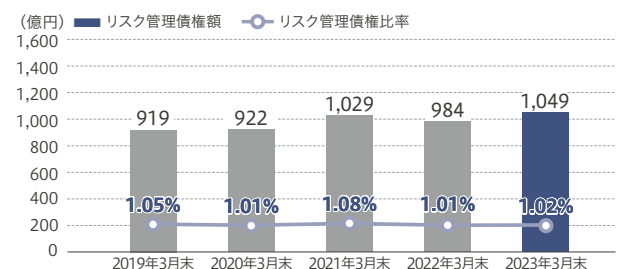
総貸出金残高(平均残高・静岡銀行単体) **9兆8,150** 億円



総預金残高(平均残高・静岡銀行単体) **11兆4,410** 億円

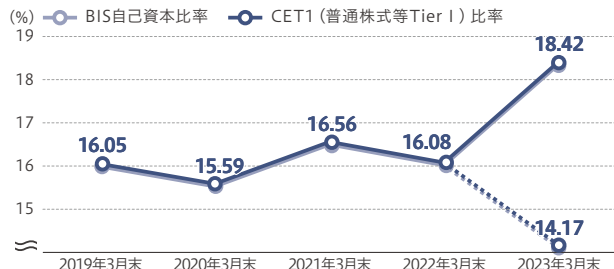


リスク管理債権※比率(静岡銀行単体) **1.02%**



※銀行法施行規則改正に伴い2022年3月末より金融再生法開示債権の基準に統一。過去に遡って適用

BIS自己資本比率(連結) **18.42** (14.17※) %



※バーゼルIII最終化完全適用後の、資本フロア調整額等を考慮した試算値(2022年9月末時点の影響額を反映して試算)。

格付(ムーディーズ) **A1**  
(2023年7月1日現在)

	長期格付	短期格付
しずおかフィナンシャルグループ		
格付投資情報センター	A+	-
静岡銀行		
ムーディーズ	A1	P-1
S&P	A-	A-2
格付投資情報センター	AA-	-

株主還元率(10年間平均) **50.2%**

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2013年度~2022年度(10年間平均)
1株当たり年間配当額	22.0円	22.0円	25.0円	26.0円	30.0円	-
配当性向	27.6%	32.6%	32.8%	35.4%	32.2%	28.6%
株主還元率	49.1%	54.9%	32.8%	56.2%	51.1%	50.2%

# 非財務ハイライト (2022年度実績)

## 環境



しずおかフィナンシャルグループの  
温室効果ガス排出量

**31.3%** 削減  
(2013年度比)



サステナブルファイナンス累計実行額  
(うち環境ファイナンス)

**4,616**億円  
(2,297億円)  
(2022年度迄)

## 社会



オープンイノベーションによる  
県内企業の共創支援

TECH BEAT Shizuoka※

のべ参加者数

**33,859**名

商談件数

**1,412**件

※テクノロジースタートアップ企業と静岡県内企業のマッチングの場  
(2019年度以降累計)



しずおかキッズアカデミー

**26**回開催  
(2016年度以降累計)



指導的地位にある  
女性の比率※

**22.6%**



男性育休取得率※

**136.3%**

※静岡銀行・静銀ティーエム証券・静銀ITソリューション・静銀モーゲージサービス・静銀ビジネススクリエイト



事業再生支援完了件数および  
事業再生・事業承継支援を通じて  
雇用維持または再雇用先を確保した  
雇用者数

**301**件 / **26,747**人  
(2005年度以降累計)

■事業再生支援取組み件数…………… **60**件  
うち支援完了件数…………… **14**件

## ガバナンス

(2023年7月現在)

取締役会の構成

社内取締役

**5**名  
[男性5名]

社外取締役

**5**名  
[男性3名・女性2名]

代表取締役 2名  
監査等委員でない取締役 2名  
監査等委員である取締役 1名

監査等委員会の構成

監査等委員  
(社内取締役)

**1**名  
[男性1名]

監査等委員  
(社外取締役)

**3**名  
[男性2名・女性1名]

### ■社外からの評価・外部イニシアチブへの賛同

#### 女性活躍に関連する認定

プラチナくるみん



「くるみん」よりも高い水準  
で子育てサポートを取組む  
企業として4社が認定

- 静岡銀行
- 静銀ティーエム証券
- 静銀ITソリューション
- 静銀ビジネススクリエイト

プラチナえるぼし



「えるぼし」よりも高い  
水準で女性活躍に向けた  
職場環境が整備された  
企業として1社が認定

- 静銀ビジネススクリエイト

えるぼし(三つ星)



女性が活躍しやすい職場  
環境が整備された企業と  
して4社が認定

- 静岡銀行
- 静銀ティーエム証券
- 静銀ITソリューション
- 静銀モーゲージサービス

#### 「健康経営優良法人2023」に認定



健康経営に取り組む優良な  
法人として3社が認定

- しずおかFG
- 静岡銀行
- 静銀ITソリューション

#### 「The Valuable 500」に賛同



障がい者の活躍推進に  
取り組む国際イニシアチブ  
に賛同

- 静岡銀行